

5号機 復水器水室(A)及び(C)出口弁の修理について(続報)

平成 17 年 3 月 11 日

定格熱出力一定運転中の5号機(改良沸騰水型、定格電気出力138万kW)において、復水器水室(A)及び(C)出口弁の電動機と弁をつなぐ部品(歯車)が摩耗していることが分かりました。当該弁については、修理(部品交換)を実施し、復旧しております。 ([平成17年2月28日お知らせ済み](#))

その後、当該部品の摩耗原因を調査した結果、動きをなめらかにするための潤滑剤(グリース)が不足していたことが分かりました。

これは、工場における潤滑剤の注入量の確認が十分でなかったことによるものと推定しております。

このため、今後、工場において分解・組立等を行う際には、潤滑剤が確実に注入されていることを確認するため、注入前後の重量測定を行うよう手順を見直しました。

なお、類似弁については、潤滑剤が十分に注入されていること及び部品の摩耗状況等の確認を行い、問題のないことを確認しております。

以上